

患者さんの声をもとに病院と キャッチボールできる関係に

—大阪発—
入院中の精神障害者の権利擁護の取り組み

山 本 深 雪

認定NPO大阪精神医療人権センター

大阪市北区西天満5-9-5 谷山ビル9F

TEL06-6313-0056/FAX06-6313-0058



本日はこのような機会を与えて頂き、
感謝します。

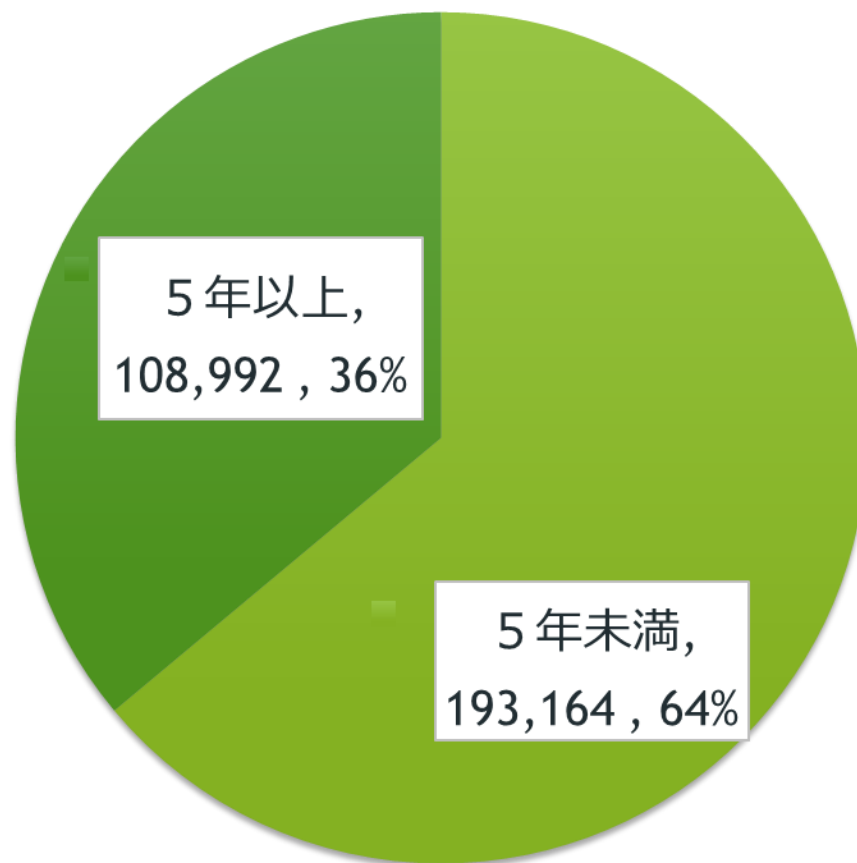


■精神科関連で発覚した主な問題事件

(この年表は原昌平氏作成の年表を当センターが抽出したものです)

発覚年	月	所在地	医療機関	主な内容
2015	9	新潟	県立精神医療センター	30代男性看護師が入院患者の男性を殴り、けが。停職処分、傷害容疑で書類送検
2015	7	千葉	石郷岡病院	看護師が保護室の患者の頭を踏みつける映像。准看護師2人を傷害致死容疑で逮捕、起訴。虐待が日常的だった疑い
2015	4	神奈川	聖マリアンナ医大病院	他の医師の診療レポート流用などで精神保健指定医の資格を不正取得。23人の資格を厚労省が取り消し
2014	12	北海道	亀田北病院	女性事務職員が患者からの預かり金約2800万円を着服、懲戒免職
2014	8	佐賀	肥前精神医療センター	入院患者の女性に暴行し、肋骨を折ったとして看護師の男を傷害容疑で逮捕(釈放、起訴猶予)
2014	3	東京	都立松沢病院	50歳代の男性看護師が、入院患者4人以上の顔をたたくなど暴力。「死ね」など暴言も。都が発表
2013	10	宮城	光ヶ丘保養園	男性患者(86)に水分補給などをする際、手足を押さえつけて腰椎を脱臼骨折させ、出血性ショックで死亡させた疑いで看護師7人を業務上過失致死容疑で書類送検。
2013	9	神奈川	国立病院機構神奈川病院	精神科病院から虫垂炎症状で搬送された統合失調症の女性患者の入院加療を拒否。
2013	6	佐賀	虹と海のホスピタル	男性准看護師が入院患者の預金を33万円着服
2013	5	群馬	西毛病院	入院患者が殴られ死亡。看護助手の男を傷害致死容疑で逮捕・起訴。初公判で事実認める

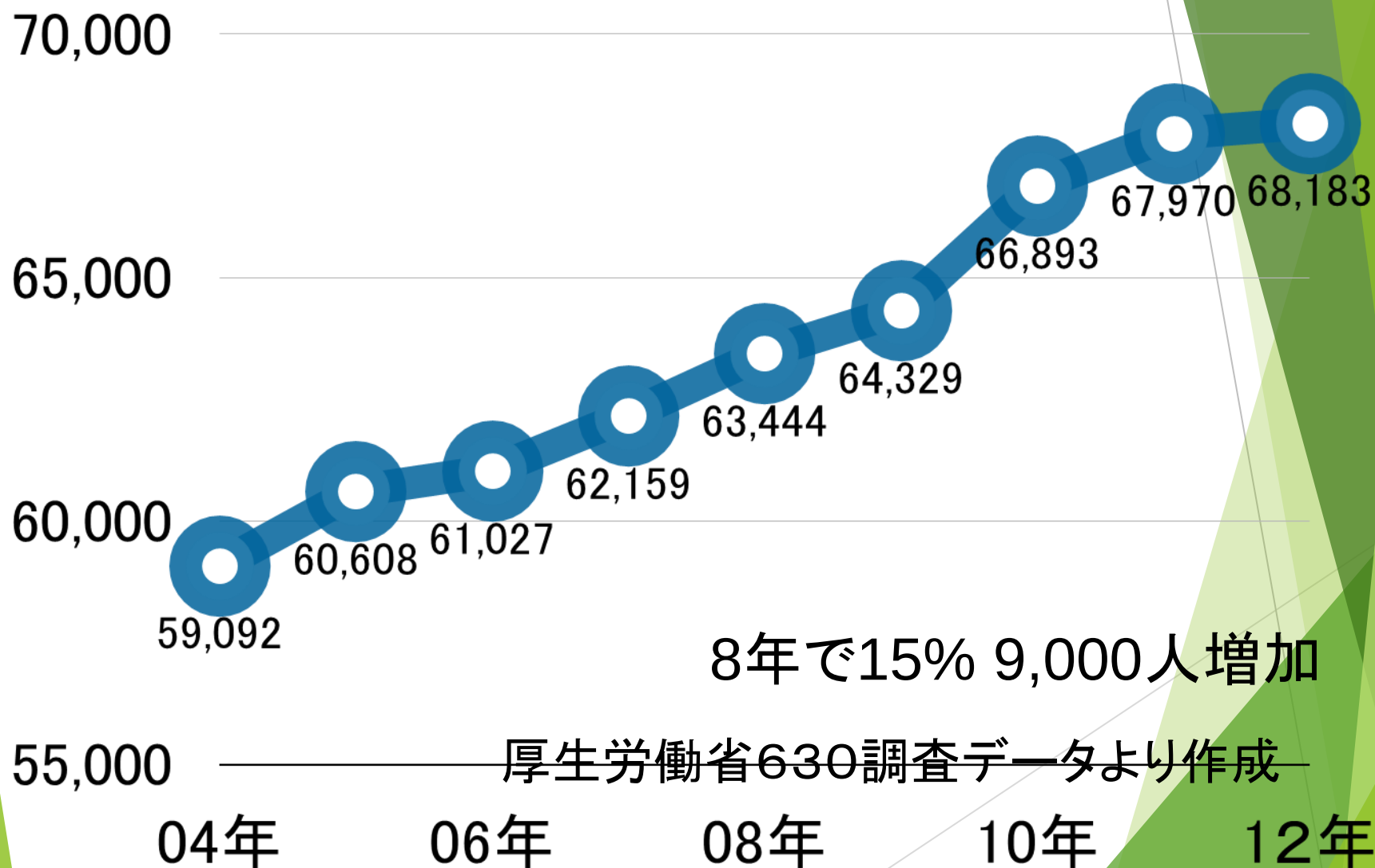
10万人以上(36%)の患者さんが 5年以上の長期入院



■ 5年未満 ■ 5年以上

精神保健福祉資料より（2012年6月末時点）

増えている認知症入院者（精神科病床）



認定NPO大阪精神医療人権センターの目的

「精神医療および社会生活における精神障害者の人権を擁護する活動を行うとともに、それを通じて精神障害者に対する社会の理解を促進し、障害の有無にかかわらず、人間が安心して暮らせる社会に一步でも前進させるべく貢献することを目的とする」

声をきく

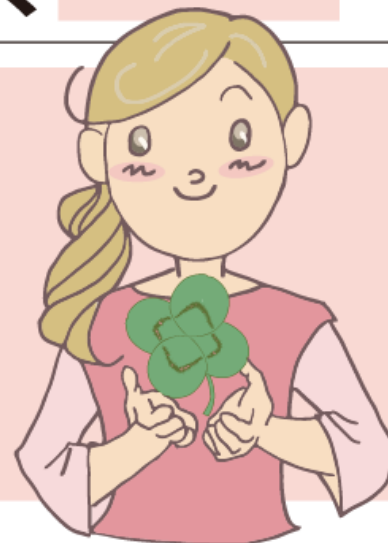
患者さんの訴えを聞き、病院に伝えることを支援する

扉をひらく

精神科病院を開かれたものにする

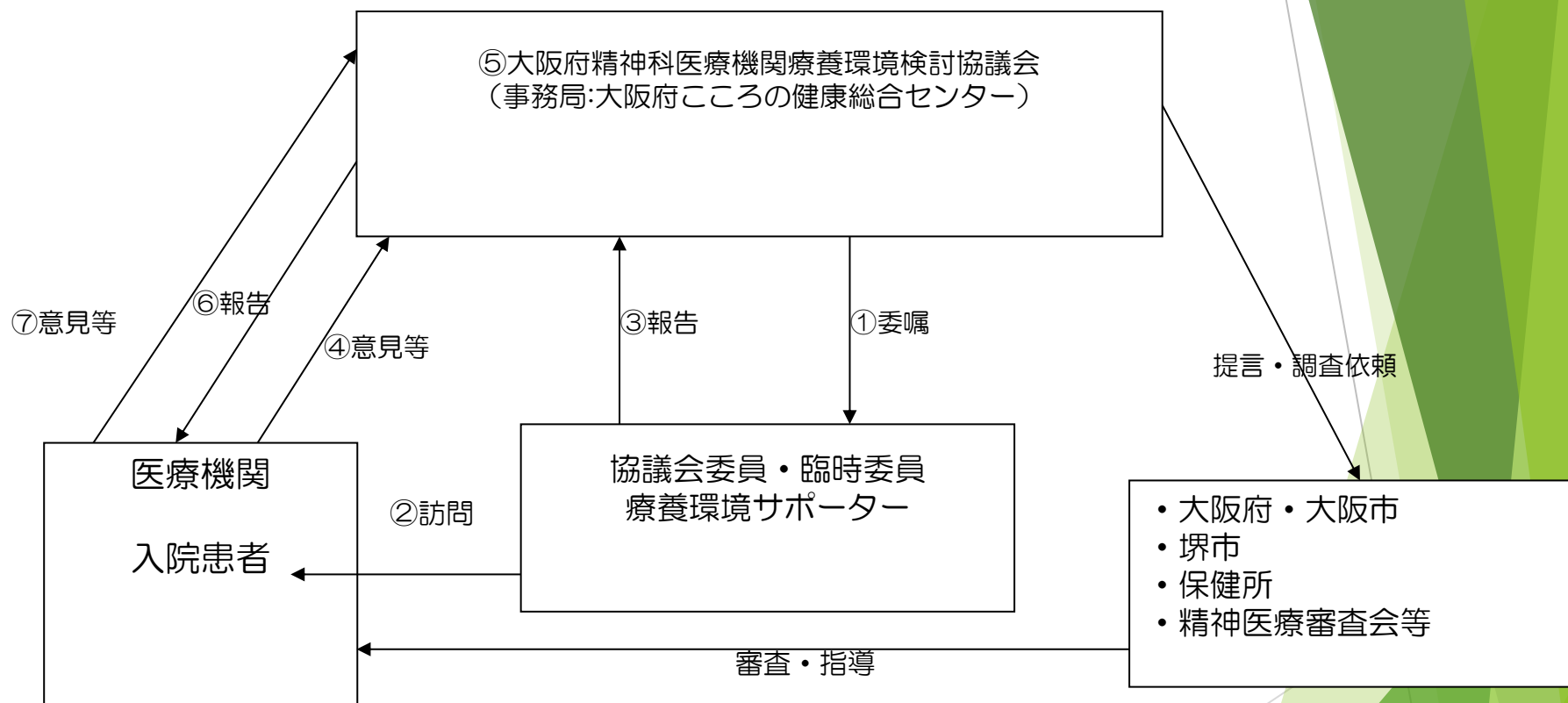
社会を変える

安心してかけられる精神医療を実現する



療養環境サポーター制度

(大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会事業)



- ① 大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会が
「療養環境サポーター」を委嘱
- ② 協議会委員やサポーターが医療機関を訪問
- ③ 協議会委員やサポーターは「療養環境サポーター活動報告書」
を作成し、検討協議会に提出
- ④ 活動報告書（③）に対して訪問した医療機関が
訂正申し入れや意見を提出
- ⑤ 活動報告書（③）と医療機関からの意見や訂正申し入れ（④）
をもとに検討協議会で検討
- ⑥ 検討協議会での検討内容（⑤）は、検討協議会事務局から
訪問した医療機関に報告される
- ⑦ 検討協議会からの報告（⑥）に対して、医療機関から再度、
意見等が提出されることもある

大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会 構成機関等

大阪精神科病院協会

大阪精神科診療所協会

日本精神科看護技術協会大阪府支部

大阪精神保健福祉士協会

大阪弁護士会（高齢者・障害者総合支援センター）

N P O大阪精神医療人権センター

大阪精神障害者連絡会

大阪府精神障害者家族会連合会

大阪府社会福祉協議会（大阪後見支援センター）

大阪府保健所長会

大阪府・堺市・大阪市

学識経験者

事務局：大阪府こころの健康総合センター

精神科病棟訪問時、 どのような視点で動くのか？

- ▶ 自分だったらどう思うか、と考える視点
例) ベッド周りに、カーテンが欲しい
- ▶ 入院者に寄り添う姿勢で、気持ちをお尋ねする
例) ☎は他の人に聞かれない所で使いたい
- ▶ 見た事・聞いた事を、文字に残す

精神科病棟訪問時、 どのような視点で動くのか？

～病院とのキャッチボール～

すべき事、してはいけない事

- ▶ まずは「お話を聞く」
- ▶ 努力の跡（道筋）も聞く
- ▶ 体質改善を粘り強く働きかける

病院とのやり取り (1)

検討項目	病院側の対応
ベッド周りのカーテン	設置することを検討します。/○年度中に設置します。
トイレ個室の鍵	(高い位置にある鍵を)多くの患者が使いやすい位置に早急に変更します。
トイレットペーパー	設置しました。/今後、病院の経費として購入を検討します。
隔離室	改善対策として格子側の通路にまわる時は必ずトイレ使用中でないことを出入口の窓から確認することを職員へ徹底させる。格子側の通路についたてを置き患者が外部から見られることに対する不安を少しでも解消する。
鉄格子	撤去することを検討します。/撤去いたしました。

病院とのやり取り（２）

検討項目	病院側の対応
薬の渡し方	病室で薬を渡すことを原則とし、デイルームで配薬する場合は座って待つて頂くこととしました。今後改善していきます。
ポータブルトイレ	使用後速やかに処理を行うようにします。/運ぶ際には蓋をするようにスタッフの教育を行います。/排泄物は患者にとっても他の人に感づかれることは恥ずかしいものであり、看護者としては細やかな気配りをしなければならないと思っています。改善いたします。
病棟の雰囲気	近隣の住宅に面している窓が全面くもりガラスになっている件については、指摘を受け、早急に目線の高さまでのくもりガラスに改善し空や景色が望めるように改善いたしました。/絵画を飾りゆとりのある空間作りを実施しました。
声のかけやすい詰所に	施錠を原則としています。ただ、患者との信頼関係をよりよりものにし、開放感のある療養環境の中で治療を進めていくという観点から考えると、現状は改善を検討すべきことと思われます。今後は「詰所内に職員がいる時は詰所の扉は施錠しないこと、小窓は大きく開けておく」ということを原則とし、病棟職員に徹底していく予定です。

病院とのやり取り（3）

検討項目	病院側の対応
公衆電話の 設置場所	パーテーションを設置します。/簡易ブースのような構造を検討したいと思います。/電話の移設により、周りの環境から電話のスペースを独立させ、周囲を気にせず電話が利用できる環境を整備する。/デイルームの椅子の配置の見直します。
権利擁護 機関連絡先の 掲示	車椅子利用者からも見やすい位置に貼りなおしました。/男子トイレの便器の前の壁に立てかけられていました。そこは本来の場所ではないため、公衆電話の横に置き直しました。/通常は掲示していますが、剥がされることもあります。今後は剥がされないような枠を設置し、掲示するよう検討しています。早急に取り組みます。
意見箱 投書への回答	設置場所の変更を検討しています。家族の方も記入しやすくなるよう各病棟だけでなく、病院玄関部にも設置し、広く意見を頂戴するよう努めます。/今回は回答の作成が滞っていたので気をつけます。/畳を一部撤去し、掲示物の前まで車イスでいけるように改善しました。/精神科病棟の患者は病棟から出る機会が少ないため、病棟内 ¹⁴ で対応し掲示することを検討します。

病院とのやり取り（４）

検討項目	病院側の対応
職員の接遇 言葉遣い	余裕の無い時に「後で」という言葉が出てきていると思います。その場で対応が困難な時は「〇〇の後でとか〇時迄待ってください」等の対応を病棟勤務者全員に再確認します。/より一層、言葉遣いの改善を徹底いたします。/接遇委員会を中心に言葉遣いの徹底をしてはおりますが、職員一人ひとりに意識を持ってもらうよう再度教育していきます。/怒鳴られながら入っているについて、スタッフ教育については今後も継続していきたいと考えています。対人間のコミュニケーションという部分で、心の通わない場面があったのではないかと考えられます。患者様自身が一番苦しい状況に専門として十分対応できていなかったことの現われであると真摯に受け止め、今後に活かしていきたいと思います。/言葉使いは、各部署で管理職から常日頃注意をしているつもりであるが、患者よりそのように受止められる言動であれば、非常に残念であり、反省しなければならない。接遇研修は、教育委員会の年間計画に組み込まれ、外部講師を招いて毎年実施している。その中には、言葉使いも含まれている。しかし、当日の出勤者のみが対象であり、職員全員が必ず受けるという確認までは行っていない。今後、個人別の研修受講カードを作成し、各種研修の参加状況をチェックできるシステムに改めます。

病院とのやり取り（５）

検討項目	病院側の対応
職員の名前 写真の掲示	すべての詰所の前の壁に看護職員の写真と名前を掲示します。/精神科救急病棟担当の医師の写真も掲示しました。
退院のための 相談・情報提供	掲示されているPSWの業務内容を入院時の案内や病棟に掲示するようにしたい。常勤精神保健福祉士は、増員をはかる。/全患者に対して担当PSWが患者に頻繁に関わっていくことは勿論、病棟に医療相談室の案内を掲示する等周知徹底に努めます。/地域の社会資源についての情報提供出来るよう努めます。/将来的に数字目標を掲げて退院に向けての取り組みを行っていきたい。/退院の話を「はぐらかされている」という患者の声をすくい上げる看護、生活支援を検討し、周知の機会を持つようにします。
薬や病気の説明	薬の説明や病名説明等、入院時には必ず行っていますが、長期に入院されている患者の場合には以前に説明を行った経過もあり、再度患者に確認を行い、説明及び情報提供を行います。

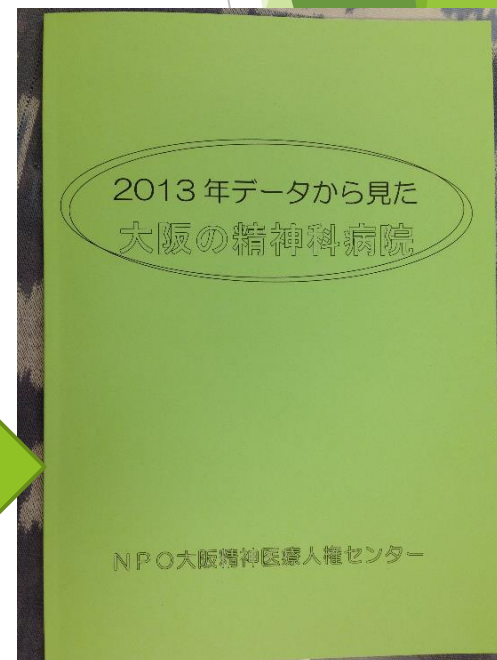
利用者の立場にたった病院ごとの 情報を発信

2015年11月14日発行！



病院訪問活動の記録
病棟の様子
患者さんの声
病院と意見交換した内容 2000円

データから見た
病院ごとの情報（グラフ）
1000円



情報とつながる

どうぞNPO大阪精神医療人権センターの
会員になってください

電話 06-6313-0056

FAX 06-6313-0058

Mail advocacy@pearl.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.psy-jinken-osaka.org/>

ブログ

<http://blog.canpan.info/advocacy-osaka/>



ありがとうございました

